

知っておくべき 知床登山の心得

計画時の基本姿勢

知床でヒグマ等現地の最新情報の入手や、装備・登山計画書の準備を忘れないようにしましょう。

- ヒグマや天候などの最新情報を確認する
- 複数人での行動を計画する
- 臭いが強い食料や持ち物を持たない
- 「日の出・日の入」、「薄明・薄暮」、「夜間・濃霧・大雨・強風」時の行動計画は避ける
- クマ撃退スプレーは必ず用意する**
→クマ撃退スプレーは飛行機に持ち込めませんので、施設の貸し出しサービスをご利用ください
- 登山計画書を提出する
- 自分の健康状態をふまえた計画にする
- 遭難・事故防止のための装備を確認する

クマ撃退スプレー、フードコンテナ貸し出し施設

・知床自然センター、知床羅臼ビジターセンター、ルサフィールドハウス、木下小屋
※木下小屋はクマ撃退スプレーのみ貸し出し

自然を守る基本姿勢

知床の繊細で豊かな自然を守るために必要な基本姿勢をご紹介します。

ゴミ・排泄物処理について

- ゴミは全て持ち帰る
- 携帯トイレを携行し、排泄物や使用した紙類は持ち帰る
- 石けん・洗剤は使用しない

植生の保護について

- 登山道を踏み外さないようにしましょう
→踏みつけに弱い植生の中に絶対に入らない
- 決められた場所以外での野営は禁止
- トレッキングボールの先端にはキャップを着用する
- 靴や衣服等の種子や土を取り除いてから入山する

火の取り扱いについて

- 山では焚火をしない
- バナーによる火災・植生の損傷に注意する

「知床連山」は厳しくも美しい雄大な自然が広がる山域でヒグマをはじめとした希少な生物が生息しています。だからこそ、知床連山を訪れる際は、「入念な計画を立て、装備・知識を揃えること」「ヒグマ対策を行うこと」「自然に配慮すること」が求められます。

知床登山を安全に楽しむための基本姿勢を紹介します

ヒグマ対策の基本姿勢

知床は世界有数の「ヒグマ高密度生息地」です。そのため、他の地域のクマとは異なる心構えと対応が必要です。

行動時、遭遇を防ぐために

- 見通しの悪い所では、人の存在を知らせる
→声を出したり、クマ鈴を携帯する
- 不意な遭遇を防ぐために登山道は走らない
- 食料や荷物は放置しない。匂い漏れにも注意する
- エゾシカの死体を見たら、すぐ離れる

野営時、遭遇を防ぐために

- 「テント」「調理・食事場」「食料保管場所」の間を70m以上の十分な距離をとる
- テントに食料や生ゴミを絶対に持ち込まない
→フードロッカーへ厳重に保管する

出会った場合

- ヒグマを刺激しないようにゆっくりと、背を向けず引き返す
- ヒグマが近づいてきた場合、速やかに、走らず・背を向けずに退避する
- 食料やごみを取られても絶対に取り返そうとせず、当面は近づかない
- 子グマを見つけた場合、絶対に近づかない
→近くに母グマがいる可能性が高い
- 目撃したら「ヒグマ目撃アンケート」へ回答
- 危険な目にあったら、「090-3778-4308 知床財団(深夜早朝も可)」に通報

襲い掛かって来た場合

- クマ撃退スプレーを使用する
 - 安全ピンを抜き、構える
 - 距離を保ち、構える
 - クマの目と鼻を狙って噴射する
 - 速やかに退避する
- 攻撃された場合は、攻撃が止まるまで「防御姿勢」を維持する
→うつ伏せになって頭と腹部を守り、手で首裏と後頭部を保護する

※スプレーも防除姿勢も100%の効果を保証するものではなく、あくまで最終手段です。